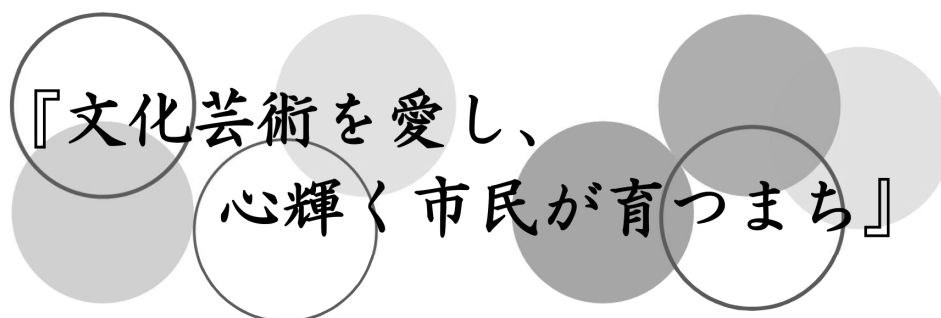


## 第3章 基本的な考え方

本市の文化芸術に関する課題と求められている方向性を踏まえ、市全体の文化創造に対する基本的な考え方を整理し、本プランの基本理念と基本目標を示します。

### 1 基本理念

本プランの基本理念を以下のように設定します。



文化芸術は、人々の感性を刺激し、豊かな心とまちの魅力を高める力があります。地域の文化的価値を顕在化し、共有することで、地域への愛着と関心が高まり、人と人をつないだ交流が大きな力を生み出すエネルギーとなります。新しいまちづくりが進められている東海市においては、まちの魅力を一層高め、まちににぎわいを生み出すことを目的として、人々の出会いと交流を促すとともに、市民の感性を磨き、生活の潤いや、いきいきとした人生に寄与する文化芸術の振興は、大きな意義を持ちます。

このようなことから、身近な場所で多様な文化芸術にふれることができ、自主的な文化創造活動ができる環境づくりを進めることで、市民一人ひとりが、東海市で育まれる様々な文化芸術に関心を持ち、それがまちへの愛着と誇りにつながるようにしていきます。そして、市民の文化芸術活動を活発にしていくとともに、文化芸術の持つ様々な力を活かすことで、将来に向けての東海市を担う人づくり、さらには、持続的な活力を持ったまちづくりを実現していきます。

《文化芸術の振興》

- 市民の自主性と創造性を育む
- 地域の絆を形成する

- 次代を担うひとづくり
- 持続的な活力を持ったまちづくり

## 2 基本目標（施策体系の四つの柱）

『文化芸術を愛し、心輝く市民が育つまち』を実現するため、市民が主体的に文化芸術に取り組む将来像として四つの基本目標を掲げます。

### 目標1 文化芸術への関心と感性が高まる ～知る～

文化芸術に関する情報を整理し、市民が鑑賞や創作活動に関する豊富な情報を容易かつ効果的に手にすることができる環境を整えるとともに、文化芸術活動が盛んなまちとしてのイメージを形成することが重要です。

そのため、市民の文化芸術活動に関する情報の整備として、施設利用の情報などが入手しやすく、人材の募集、発表や展示を行う際に、個人や団体が情報を発信できる仕組みづくりを推進します。

また、これまで文化芸術に関心のなかった市民も振り向くような創造性豊かな企画を実施し、観光、まちづくり、国際交流、福祉、産業などの様々な分野、その関係機関と連携しながら、施設内だけでなく、広場や公園など人通りの多い場所で文化芸術に関するイベントを開催することで、多くの市民が文化芸術に出会う場を創出し、文化芸術を通じた市のイメージ向上につなげていきます。

あわせて、文化施設などの施設間の横のつながりを生かした情報の収集・発信を積極的に行い、文化芸術に対する関心を高めます。

### 目標2 だれもが身近に文化芸術に親しんでいる ～鑑賞する～

鑑賞は、最も気軽に参加できる文化芸術活動であり、音楽を聴く、公開されている映像作品やまちなかで展示されている芸術作品を観るなどの身近なものを含めると、だれもが日常的に文化芸術に関わっていると言えます。また、本物の文化芸術に触れる体験は、人の感性や価値観に影響を与えることもあります。

今後は、積極的に文化芸術に親しみ、質の高い文化芸術に触れる機会を充実させ、市民が地域資源や文化芸術事業の価値を理解し、生かすことで、地域への愛着と誇りが高まるような取り組みを進めていきます。

特に、子どもたちに対しては、年齢に関わらず多様な文化芸術に触れる機会を提供することで興味や関心を高め、個々の活動につなげる可能性を広げていきます。

### 目標3 多彩な文化芸術活動を行っている ～活動する～

市民が主体的に、生き生きと文化芸術活動を行うためには、活動に関わる様々な環境が整っている必要があります。文化芸術活動が市民の生きがいを見出すことにつながるよう、充実した環境づくりが必要です。

そのため、各文化施設の機能の充実に加え、各種講座や文化芸術関連団体などについての情報提供、専門家による指導の実施など、市民の文化芸術活動に関する実態やニーズに応じて様々な受け皿や支援を展開するように努めます。

また、芸術劇場や創造の杜交流館などホールや練習室を有する施設だけでなく、市民の身近な活動場所である公民館・市民館・コミュニティセンターなどを文化創造の場と位置付け、練習から発表までの充実した活動が十分に展開できるように、各施設の特性の明確化と役割分担、機能の充実を図ります。

さらに、文化芸術関連団体（文化協会など）と生涯学習支援組織（市民大学「平成嚶鳴館」）がそれぞれの抱える課題を解決するため、組織間の連携の高まり等を図り、両組織の好循環が生まれるよう検討することで、市民が文化芸術活動に取り組んだり、生きがいづくりの場として活用できるよう連携を強化していきます。

### 目標4 文化芸術を支える人とまちが育つ ～育む～

文化芸術への関わり方は様々です。音楽や絵画などを鑑賞する人、創作する人に加えて、こうした活動を支えるコーディネーター\*や市民スタッフを始めとしたボランティアなども、文化芸術活動を支えるという意味で「文化創造の担い手」であると言えます。文化芸術に対して関心がある市民、何らかの形で地域に貢献したいと考えている市民、生涯学習を通じて知識を身に付けた市民など、多様な人材を発掘し、育成することで、文化芸術を支える市民の輪を広げていきます。

特に、子どものころの文化芸術体験は、感性や心の豊かさを育むことにもなり、次代を担う人材を育てる視点からも重要な意義を持ちます。

既存の文化芸術関連団体などにおいても、次代の人材育成に積極的に取り組むことで、団体の継続を図るとともに、市民の文化芸術活動の基盤となるような支援を進めていきます。

また、伝統的な地域文化については、継承していくための人材育成に努めるとともに、特徴的な文化資源をまちづくりに生かしていきます。

さらに、部活動の地域移行に関して、移行されることによる子どもたちや保護者への影響が最小限になるような検討が必要です。

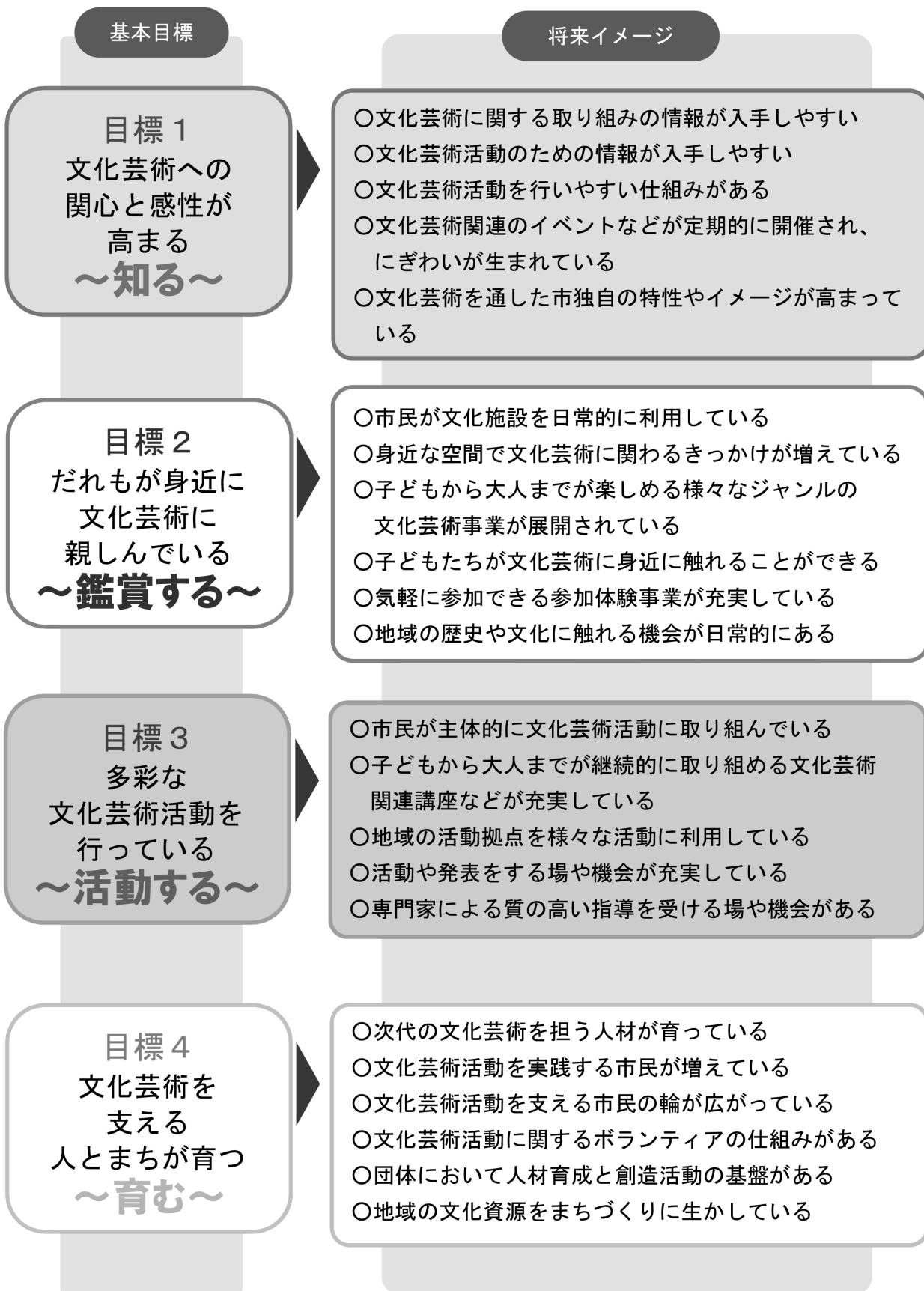
#### 用語の解説

コーディネーター…物事が円滑に行われるように、様々な要素の調整や進行をする人。





### 3 施策の体系



施策

事業例

文化芸術に関する情報の収集と提供

- ・文化芸術情報のデータベース化
- ・メディアを活用した情報発信の仕組みづくり

文化創造拠点ネットワークを生かした情報発信

- ・芸術劇場への総合インフォメーションの設置
- ・文化施設の共同広報事業

市独自の特性を生かした文化イメージの発信

- ・東海市子どものオーケストラ育成基金寄附者への情報発信
- ・地元企業メセナ活動の推進

多彩な企画による鑑賞事業の実施

- ・多彩なジャンルのコンサート
- ・絵画、写真、映像などの鑑賞事業

学校などと連携したプログラムの実施

- ・小・中学生劇場招待コンサート
- ・大学などの一般市民向けの公開講座・セミナー

郷土の偉人に関連する学習プログラムの実施

- ・平洲記念館講座
- ・嚶鳴広場事業

地域における参加体験事業の実施

- ・福祉施設などへのアウトリーチ「ふれあいコンサート」
- ・コミュニティ・ワークショップ

生涯学習講座や学習プログラムの充実

- ・市民大学「平成嚶鳴館」への支援・連携
- ・歴史講座

文化芸術活動のための環境づくり

- ・文化施設などの管理・運営事業

活動支援のための相談機能の拡充

- ・文化創造拠点ネットワークを生かした活動団体などへの支援

文化芸術関連団体の活動支援

- ・東海市文化協会活動事業への支援
- ・交流パフォーマンス

次代を担う人材の育成

- ・東海市子どものオーケストラ
- ・「おんがくさん はじめてコンサート」(保育園児対象)

市民参加事業の充実、市民スタッフの育成

- ・市民スタッフ育成事業
- ・芸術劇場「友の会」制度

市民の主体的な活動の促進

- ・文化芸術表彰制度
- ・東海秋まつり・文化祭

山車文化など地域の文化資源を生かしたまちづくり

- ・創造の杜交流館との連携
- ・伝統芸能の保存と継承事業